

環境学習講座

# 42

対 象

園児～  
(一般可)

対応可能人数

30人程度  
(クラス単位可)

時 間

30～90分  
(分割可・短縮可)

## ●講座名

# ネイチャーゲームで 地球温暖化防止を考えよう

## ●講座概要

- 1 ネイチャーゲームの中の生き物の生態を知るゲーム  
・ ノーズ（ヒントを与えて生き物を当ててもらおう）  
・ 私は誰でしょう（質問をして生き物を当てる）  
・ 動物質問室（グループで質問をして生き物を当てる）  
以上のゲームから絶滅貴種等の生態を知り地球温暖化の影響を知ってもらいます。
- 2 フィールドビンゴ（ビンゴカード方式で五感をつかって色々な自然を感じてもらおう）  
木の鼓動（聴診器を使って植物の鼓動を聞く）を使って自然（太陽と地球）を感じてもらい自然は生きている、そして地球温暖化防止に役立っているんだということを理解してもらいます。
- 3 上記のゲームや絵本等を通して、地球温暖化防止のために自分達はこれから何が出来るかを考えてもらいます。

このようにネイチャーゲームを体験することで、確実に自然や地球に対する関心が高まります。

## ●講師

山口芸術短期大学 教授、ネイチャーゲームコーディネーター、  
県環境パートナー

よし の のぶ お  
吉 野 信 朗

## ●その他

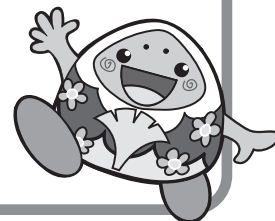
- ・ 野外での活動が基本ですが、室内でも可能です。
- ・ プログラムによっては、筆記用具が必要となります。
- ・ 長期休業期間を除く平日の昼間は開講できませんので、ご了承ください。



### Q. 生態系を守るとは、ということなの？

「自然のしくみを知ろう」とか「生態系を守ろう」とか、よくいわれますが、人間にも影響があるのですか？

A. 自然の中では、生き物が支えあって、微妙なバランスを保って生きていることは知ってるよね。自然界は人間が自然を壊すことで、生態系（しくみやバランス）が崩れてしまうんだよ。人間も、自然の恵みを受けているから、壊すと困ることになるんだよ。川や海が汚れることで、魚が住めなくなったり、開発により森がなくなったり、埋め立てで自然の干潟や海岸がなくなって、生き物の住みかがなくなります。また、田んぼでお米を作らなくなったり、山の手入れをしなくなったりして、豊かな自然環境がなくなっている。また、人の手によって他の地域の生物が持ち込まれたり、ペットを捨てたり。やっぱり、人間も自然界の一員として、自然に対して責任を持たなければならないんだよ。



環境学習講座

43

対 象

園児年少～  
(一般可)

対応可能人数

～20人程度  
(クラス単位可)

時 間

60分～  
(分割可・短縮可)

## ●講座名

自然とふれあう  
ネイチャーゲーム体験

## ●講座概要

ネイチャーゲームは、1979年米国のナチュラリスト、ジョセフ・コーネル氏により発表された五感を使って自然を直接体験する楽しいプログラム（野外活動）です。現在160種類以上の活動があり、四季折々にどなたでも自然とのふれあい体験ができます。五感で自然を感じ、心と体で直接自然を体験することによって、自然と自分が一体であることに気づきます。

対象年齢、人数、場所、時間、開催時期によってプログラムを組みます。自然とともに生きるライフスタイルを考えてみませんか。

## ●講師

(公社)日本ネイチャーゲーム協会公認トレーナー

ふく だ かず こ  
福 田 和 子

## ●講座概要

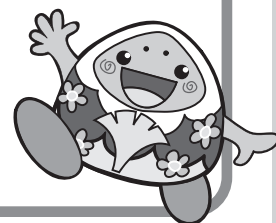
- ・ 野外での活動が基本ですが、室内でも可能です。
- ・ 野外活動ができる服装をご準備ください。
- ・ 内容によっては、教材費(50円程度/人)が必要になります。



## Q. 森林破壊の原因をつくっているのは日本というのは、本当なの？

森林破壊の原因をつくっているのは日本ということを知ったことがあります。それが本当なら、かなりショックです。これから、森林保護に取り組むことは、私たちの責任なのですね。森林破壊を食い止め、かつ森林を再生するために必要なことは何なの？

- A. 日本が森林破壊の大きな原因となっているのは、残念ながら事実で、今では総消費量の8割を輸入に頼っている世界最大の木材輸入国なんだ。1960年代はフィリピン、70年代はインドネシア、その後も中国、シベリアなどから大量の木材を輸入しているんだよ。とにかく、日本など先進国の大量消費で森林破壊は回復できないくらい悪化しています。もともと日本には、すべての需要をまかなうだけの森林資源があります。これからは、「無駄な消費を減らして国内の需要は国産木材でまかなう」「計画的に植林を行って、成長以上に伐採しない」「原生林の伐採を禁止する」などが大切です。そして、一人ひとりが、「国産木材でできたものを使う」「過剰包装を断る」「紙コップなど使い捨てを減らす」「植林、間伐、草刈などの森林保全活動に参加する」ことなどが、森林破壊を食い止めることにつながるよ。一番大切なことは、自分にできるものを見つけて、実行してみることだよ。そして、多くの人に自分の実践を伝え、輪を広げることも大切だよ。



環境学習講座

44

対 象

園児～  
(一般可)

対応可能人数

人数指定なし

時 間

90～120分  
(分割可)

●講座名

# おこそう！地球温暖化防止アクション

●講座概要

地球温暖化の現状に気づき、自然や環境への理解を深めるために、「不都合な真実」をわかりやすく解説し、身近なところではその現象をさまざまな感覚で体験します。自然体験プログラムである「ネイチャーゲーム」を通して、自然の不思議や仕組みを学び、自然と自分が一体であること気づくことで、内側からの変化をおこさせます。地球を知り、地球が愛おしく思えるようになれば、自ずと理解することや行動することはおきてきます。そこで、私たちにできる「地球温暖化防止プログラム(行動計画書)」を創り上げ、実際にアクションにつなげていきます。このことが、持続可能な地球規模での底辺アクションに必ずなっています。

●講師

(公社)日本シェアリングネイチャー協会  
公認ネイチャーゲームトレーナー

まつ だ よし まさ  
松 田 義 政

●その他

- ・開催場所については、できれば野外と室内の両方をご検討ください。
- ・野外での活動ができる服装、敷物(寝転ぶことのできる大きさ)、雨天時は雨具(レインウェア・傘)
- ・プログラムによっては、教材費(50円程度/人)が必要となります。

環境学習講座

45

対 象

中学生～

対応可能人数

～50人  
(クラス単位可)

時 間

120分  
(分割可・短縮可)

●講座名

# 気象豆知識—雲の話、風の話

●講座概要

気象は大気中で生じる様々な大気現象です。雲の種類や風がどうして吹くかを知ることによって、自然がつくる不思議さについて考えることができる力を養います。

1. 雲の豆博士になろう  
雲の言われ、いろいろな雲について知ろう—10種雲型について学ぼう
2. 風の豆博士になろう  
風はどうして吹くの？風をつくり出しているのは何なの？  
地球上のいろいろなスケールの風について知ろう

●講師

山口大学名誉教授、日本学術会議連携会員  
緑と花と彫刻の博物館「ときわミュージアム」勤務

はや かわ せい じ  
早 川 誠 而

●その他

- ・講座を2回に分けることは可能ですが、なるべく通しての受講をお願いします。

環境学習講座

46

対 象

小学4～6年生  
および教職員

対応可能人数

クラス単位  
または合同

時 間

—

## ●講座名

Dr. フォレストの  
環境教育プログラム

## ●講座概要

積水ハウス(株)では、地球がおかれている課題を解決するために、生物多様性をテーマにすることで、身近な自然に興味を持ち、自分たちができることは何かを考える「体験思考型」の環境教育プログラムを提供しています。

緑の専門家(Dr.フォレスト)から出されたミッションをクリアする中で、知識・理解として生物多様性の問題を考え、そこで得た新しい知識や視点・考え方をこれからの自分たちの行動につなげることを目的としています。

具体的には、教師が自由にアレンジすることのできる教材提供(教材データ式のダウンロード)と緑の専門家(Dr.フォレスト)が学校にやってくる出張授業(講師派遣)の2種類と、このプログラムをベースにした教員研修(教育委員会、教科研究会などで主催する研修会への講師派遣)を実施しています。

## ●講座概要

## 1. Dr.フォレストからの手紙

⇒“体験思考型”環境教育プログラムをダウンロードできます

[http://www.career-program.ne.jp/house\\_download.html](http://www.career-program.ne.jp/house_download.html)

■小学校4～6年生(クラス単位での実施)

※教材アレンジで中学校での実施も可能

■環境、生態系(緑と生きものの関わり)、里山

## 2. Dr.フォレストと森に出よう!

⇒緑の専門家が“体験思考型”環境教育の出張授業を実施いたします

■小学校4～6年生(クラス単位または合同での実施)

■環境、生態系(緑と生きものの関わり)

## 3. Dr.フォレストによる教員研修プログラム

⇒教師を対象とした、本プログラムを体験する研修を実施いたします

■教育委員会、研修センターなどで研修の企画または講師を担当される方、各教育委員会が取りまとめる現役の教員

■環境、生態系(緑と生きものの関わり)、里山

## ●講師

積水ハウス(株)環境推進部、大阪設計部他

## ●その他

・詳細は、積水ハウス(株)のホームページ [www.sekisuihouse.co.jp](http://www.sekisuihouse.co.jp) から“積水ハウス生物多様性への取り組み”→“Dr.フォレストからの手紙”を御参照ください

環境学習講座

# 47

対 象

概ね  
幼稚園年長以上

対応可能人数

約10人～

時 間

1回60分程度

●講座名

## じねんじょう山芋のグリーンカーテン 土育・食育・環育

●講座概要

希少な日本原産種の山芋「自然生」を使ったグリーンカーテンの作りあげていく過程で、植物がもつ力・特性・歴史、そして恵みの調理法など、私たちの生活との関係を半年（3回）にわたって学びます。

1回目は、「定植」土づくり・植付け（4～6月頃）

・空き地、花壇やプランターなどに種を植付けます。

・自然生（じねんじょう）の品種や生態、特長、歴史などを紹介します。

2回目は、「むかご採取」（山子ごはんの試食会）10月頃

・山芋のあかちゃん「ムカゴ」を採取して「山子ごはん」をみんなで作ります。

3回目は、「山芋掘り」11月～2月頃

・山芋を掘出してすり鉢で「とろろ汁」をみんなで作っていただきます。

●講師

やまいもまつりネットワーク

村	田	将	弘	（周南市マイスター：山芋栽培）
西	田	次	郎	
御	蔵	明	宏	
村	田	幸	太郎	

●その他

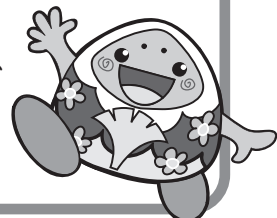
・1回につき材料費（200円程度/人）が必要になります。



### Q. 「もったいない」って、何ですか？

昔の人は「もったいない」を口癖のように言っていたそうですね。そのせいか、私のお母さんも「もったいないから部屋を出るときは電気を消しなさい」とか、「もったいないから、ご飯は残さず食べなさい」とか言います。そもそも、もったいないって、何なの？

**A.** 「もったいない」は、日本では昔から当たり前のことだったけど、この精神が失われつつあるんだよ。ノーベル平和賞を受賞されたケニアのワンガリ・マータイさんが、来日で知った「もったいない精神」に感動し、世界に広める活動を始められました。だから、日本人も誇りを持って「もったいない精神」を世界に伝えていくことは、環境を守るためにも大切なんだ。意味としては、ふたつのことがあって、「たくさんある物をやたらに使っては惜しいという気持ち」と「その人、その物を活かしてきいていない」ということじゃないかな。日本の食糧自給率は、約40%で、6割を輸入に頼っているにもかかわらず、家庭の残飯、コンビニ弁当やハンバーガーショップ、回転寿司は、一定の時間が過ぎると捨てられるんだよ。日本は、自給している40%分をそのまま捨てているとも言われているよ。不思議でしょう。だから、「もったいない」が許されない国にしていく必要もあるんだよ。



対 象

中学生～  
(一般可)

対応可能人数

会場次第です

時 間

30～180分

●講座名

## 私たちの生活を支える生き物のはなし

●講座概要

私たちの生活は、自然の中の様々な生き物によって支えられています。しかし、人間は社会活動、経済活動を活発にする中で、多くの生き物を絶滅の危機に追いやり、資源枯渇の危機にさらしています。いま、私たちの周りで進行しつつある、生き物の危機（生物多様性）について、平易に解説すると共に、この危機を回避するために私たちができることは何かを考えます。

●講座内容

- 1 私たちの生活を支える生態系
  - 2 いま起きている生き物たちの危機
  - 3 私たちができることは何か？
- ※時間と要望により内容を調整します。

●講師

山口県立大学 准教授  
温暖化 とめるっちゃネットワーク やまぐち 代表  
IPCCレポートコミュニケーター  
いま むら ちから  
今 村 主 税

●その他

- ・パソコン、スライドを使用します。  
(要プロジェクター、スクリーン、スピーカー)
- 使用機材はこちらでも準備できます。申込時にご相談下さい。

対 象

小学5年生～  
(一般可)

対応可能人数

50人程度

時 間

60～120分

●講座名

## 地球に天気の国境なし!

●講座概要

地球環境が変わったことで、私たちの暮らしがどんな影響を受けているかを食べ物（野菜の産地の移動や、海流による魚の住処）の話やPM2.5、黄砂、熱中症など、身近な話題からわかりやすく紐解きます。

地球という星が、大気や海の大きな流れに守られていて、その流れを今、私たち人間が変えようとしてしまっているのだということをお伝えしたいです。

●講師

気象予報士・防災士  
テレビ山口アナウンサーをへて、民間の気象会社からNHK ラジオの気象キャスター出演。  
現在は山口大学の研究室で気象と防災の研究補佐をしています。  
毎日小学生新聞 天気コラム「お天気宅配便」執筆（2010～2015）  
共著「天気でわかる四季のくらし」

さか もと きょう こ  
坂 本 京 子